

昨年7月に閣議決定された「骨太の方針2020」では、「デジタル化への集中投資」が掲げられ、医療分野等においては、マイナンバーカードを活用し個人の健康情報を把握できる仕組みの拡充、オンライン資格確認のための「保健医療データプラットフォーム」の運用などが示され、ICT化が加速されます。

さらに、政府は今秋までに「デジタル庁」を新設する方針で、マイナンバーカードの普及促進やオンライン診療の恒久化が実現される見通しです。

当健康保険組合では、このような社会の動向に適切に対応しつつ、健康保険組合の重要な使命である皆さまの健康管理・健康づくりに努めてまいります。

健康保険組合の通信簿にあたる「2020年度健康スコアリングレポート」の結果では、日本通運健康保険組合に加入されている方々の健康状況、生活習慣の成績は悪く、特に「肥満」と「喫煙」は「5段階評価の1」でした。

このような、心筋梗塞や脳卒中などのリスクの高い状態を放っておくことはできませんので、肥満の有所見率と喫煙の習慣率をそれぞれ「5ポイント」減らすことを重点取組事項と定め、状況の改善に強力に取り組んでおります。

また、「みんなの健康ナビ」では、日々の健康管理のお手伝いや、過去の健診結果、医療費・お薬実績等の役立つ健康情報をご提供し、「ウォークラリー」等楽しいイベントもご案内しております。

このシステムは、使って得する内容に進化させてまいりますので、より多くの方にご利用いただきますようお願いいたします。

さらには、特定健康診査、特定保健指導を通じ、疾病予防・重症化予防対策を講じ、皆さまの健康維持・増進を図るとともに、医療費の抑制に努めなければならないと考えております。

皆さまにおかれましても、健康保険組合の事業を活用され、ご自身とご家族の健康を守っていただきますようお願いいたします。

健康に日々暮らせることは、何ものにも代えがたい幸せです。

私たち日本通運健康保険組合は、本年も被保険者、被扶養者の皆さまのお役に立てるよう、職員一同、健保サービスの維持向上に努めてまいります。

最後になりますが、皆さまが今年一年、健康で幸せに過ごされますことをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

2021年1月1日